

田和橋(仮称)下部工工事  
の施工者を決めるため、先  
月25日に開札した結果、1  
落の2億8635万円で豊  
島建設が落札した。評価値  
は22・969だった。

入札者は豊島建設、佐賀  
組、小田島組、佐武建設、  
小原建設、岩手建設工業、  
長谷川建設、中澤組、E C  
南部コーポレーション、明  
和土木、松田建設。高惣建

岩手県  
**稲庭風力発電を審議**  
県環境技術審査会を開催

岩手県は今年7日、盛岡  
地区合同庁舎で第103回  
環境影響評価技術審査会を  
開き、稲庭ウインドが二戸  
市、八幡平市にまたがる地

域で計画する稲庭風力発電  
事業(仮称)の環境影響評  
価準備書を審議した。  
事業の実施面積は約69  
5ha。設置予定の風力発電

オデッサシステム  
協会  
デッサ工法

## 花泉小が汚泥固化を体験

### 固化材は児童から名称募集

オデッサシステム工法協  
会(坂本利裕会長)は8日、  
一関市立花泉小学校を訪  
れ、4・5年生を対象に汚  
泥固化の出張授業を開催し  
た。汚泥再生に利用する特  
殊固化材「ポリマー」の名  
称を今月20日ごろまでに児  
童から募集し、同協会が協



議した上で10月にも決定。  
その後、商品化する予定だ。

同協会では独自の「オ  
デッサシステム」を用い、  
建設汚泥などの無機性汚泥

を土木資材に再資源化して  
いる。今年4月に花泉地域  
の六つの統合校として開校  
した同校の新築工事におい  
て、校舎やプール周りなど  
の地盤基礎部分の埋め戻し  
工事に、このシステムによ  
り処理した再生土が用いら  
れた。出張授業は、環境学  
習に取り組む児童に建設分  
野のリサイクルへの理解を  
深めてもらおうと企画され  
た。

当日は4年生83人、5年  
生81人の児童164人のほ  
か、授業参観として保護者

も訪れた。

同協会の菅原健二副会長  
が汚泥にポリマーと呼ばれ  
る特殊固化材を混入し混ぜ  
合わせることで再生改良土  
とする一連の流れを説明し  
た後、児童は汚泥の入った  
カップを手に取り、割り箸  
で固化材を混ぜ再生土にな  
る過程を体感した。

4年生の佐々木咲弥さん  
は「泥が粉を入れることで  
変わるのには不思議だった。  
名前は家族とも相談した  
い」と話していた。菅原副  
会長は「子供たちは興奮が  
伝わるほどとても良い反応  
だった。業界の担い手不足  
も進んでいる。建設分野に  
も興味を持ってもらえら  
う」と語った。

この再生改良土は降雨で  
再泥化せず、2次発生物も  
なく環境汚染への懸念がな  
いため盛土や築堤などに利  
用されている。